

山口経済レポート



原田食品、こんにやく製品を海外展開 需要拡大に期待、英・加に販路開拓



ロンドンのスーパー
売場に並ぶ原田食品の製品

こんにやく、ところてん製造販売の(株)原田食品(岩国市周東町上久原1901-1、原田敏弘社長)は、需要の拡大が期待される海外市場に自社のこんにやく製品を展開していく。アメリカに続き、今年からはイギリス、カナダに輸出を始めた。海外での消費拡大の第一歩として位置づけ、新たな海外進出も視野に入れる。

新規取引先の開拓を目的に、出展したアジア最大級の食品・飲料専門展示会「FOOD EX JAPAN」(今年3月・幕張)で、海外バイヤーとの商談が成立。カナダの流通業者とカナダ国内の独占販売協定を結び、年間6000ケース以上の輸出が決まった。

同社工場からは11月中旬、国内で人気のコンニャクイックシリーズ、板こんにやくの計5アイテムをカナダに向けて初出荷した。12月中には現地に到着、スーパーのオリエンタルフードコーナーなどに並ぶ。来年2月に第2便の輸出を予定する。

国内食品マーケットは人口減を背景に縮小が見込まれ、こんにやくの消費量も減少傾向で推移している。

一方、海外の主要国では、寿司に代表される日本食がブームになっている。低カロリーで食物繊維が豊富なこんにやくは、健康食として海外市場で受け入れられる可能性を秘めている。

原田社長は「日本食は海外で浸透しており、こんにやく製品も需要拡大が期待できる。各国の食文化、料理方法の提案も含め、こんにやく食品に馴染みのない現地の人に食べてもらえるような商品開発を手がけていきたい」と、海外にも目を向けている。

山口部品、障害者雇用優良事業所に
山口部品(株) (美祿市美東町)が、障害者雇用優良事業所として県知事表彰を受けた。同社では障害者を積極的に雇用している。

表紙の人

岡崎 智氏(おかざき さとし)
昭和28年7月30日生まれ。
58歳。萩市川上出身。国立大島商船高等専門学校を卒業後、旧東京船舶(株)へ入社。同58年、萩市へUターン。同62年に萩市内の(有)シブエアリカに就職、焼肉商材に関するノウハウを身に付ける。平成3年6月、(有)萩ミート販売を友人3人と設立。同21年7月、同社の代表取締役就任。

県内山陽側への牛肉の副産物卸しが主体だった業務内容を、社長就任後、見直しに着手。地元産の良質の和牛を発掘、今年3月、「長萩和牛(ちようしゅうわぎゅう)」の商標を登録。6月、県の経営革新の承認。9月、本社隣接地にハンバーグ工場を建設と矢継ぎ早に経営安定と拡大の戦略を打ち出す。「牛肉の従来品が縮小する中、ブランド化で良質の和牛に活路を見出す」。休日には趣味を兼ねマウンテンバイクやカヌーを漕ぐ。

先進ハイブリッドカー
PRIUS

「山口トヨペット・プリウス基金」
山口トヨペット株式会社
フリーダイヤル0120-39-0567